

令和4年度 美術科 第2学年 年間指導計画

学期	月	時数	学習内容	評価規準			ICTの活用
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的活動	
1学期	4月	1	オリエンテーション				
	4月 5月	4	自画像デッサン	人物画について関心を持つ。人物画を描く上での注意点や顔の構造を確認する。	顔の向き、表情よっての違いを確認する。どのように描くか考える。	鉛筆の濃さやタッチについて確認する。	
	6月 7月	5	木彫筆立てに人物の顔を彫刻する	彫刻等の確認をし、けがの無いように注意する。人物像の存在感を感じ取る。	どのような手順で彫り進めていけばよいか工夫する。	彫刻等の正しい使い方が出来ていて、工程に沿って彫り進めている。	
	7月	1	ポスターのデザイン	テーマに合った伝えたい内容を分かりやすく且つ印象的なデザインを制作しようとする。	社会的な責任を意識し、効果的な視覚伝達デザインを生み出そうとしている。	伝えたい内容をわかりやすく印象的に伝えるデザインを工夫し、使用する画材の特性を生かし、色彩に配慮した制作をしている。	タブレット
2学期	9月 10月	8	木彫筆立て装飾仕上げ	木彫には様々な民芸品や建造物、寺院などの装飾として作られてきた。その文化に触れることを知る。	様々な彫り跡の種類から何をを選び装飾として完成させるか考える。	木彫を手順に沿って彫り進め、磨き、ニスで仕上げる事が出来る。	タブレット
	11月 12月	8	モダンテクニックの様々な技法をできるだけ体験する。	モダンテクニックにはいろいろな技法があって、絵画やデザインなどの表現をより豊かにできることを知る。	一つの種類でもいかに自分らしく作れるか工夫する。	サンプルの基本数を習得できている。	
3学期	1月 2月	6	モダンテクニックを使用して物語の場面を絵画表現する。	自分で選んだ物語を楽しく表現する。	物語の場面を選び、より分かりやすく伝えることが出来るか、また、どれを使うか考える。	いろいろな使いや、形など丁寧でダイナミックな表現が出来ている。	タブレット
	2月 3月	4	透視図・投影図法	奥行きのある画面を知り興味関心を持つ。		教科書、美術資料で確認し、描き方作り方のプリントに沿って作業する。	

評価計画

【各観点ごとの評価方法】

評価資料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的活動
	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 用具材料の準備 提出物 準備、後片付け 資料収集 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 完成作品 定期考査 アイデアスケッチ 制作計画 	<ul style="list-style-type: none"> 完成作品 制作過程 用具の使い方